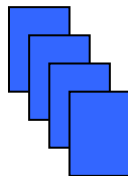


ニッセイ投資型年金  
(標準型)

—無配当変額年金保険(H13)—

## 特別勘定の運用概況



- 1 特別勘定のラインアップ
- 2 特別勘定の運用状況(ユニット価格および資産残高)
- 3 ユニット価格とユニット価格騰落率の状況
- 4 お客様にご負担いただく費用について  
(参考)組入投資信託の運用レポート

## 【ご留意いただきたい事項】

- 当資料は、『ニッセイ投資型年金(標準型)』の各特別勘定について運用状況等を開示するための資料です。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 特別勘定のユニット価格の値動きは、特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の値動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備え一定の現預金等を保有していることや、ユニット価格の計算にあたり、保険契約関係費等を控除することによります。
- お受取りいただく合計額が一時払保険料を下回ることがあります。  
当商品は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績にもとづいて死亡給付金額や積立金額・解約払戻金額等が日々増減しますので、株価や債券価格の下落、為替の変動により、積立金額、解約払戻金額等が一時払保険料を下回ることがあり、損失が生じる可能性があります。
- 当商品の年金額はご加入時に定まるものではありません。  
年金額は年金支払開始日の前日における積立金の合計額および年金支払開始日における基礎率(予定利率、予定死亡率等)によって計算されるもので、ご加入時には将来受取る年金額は定まっていません。
- 当商品にかかる費用については、《4 お客様にご負担いただく費用について》をご覧ください。

【新規のご契約のお取扱いはしていません。(増額につきましては、引続きお取り扱いしております。)]

詳しくは、変額保険販売資格を持った生命保険募集人までお気軽にご相談ください。

引受保険会社：  
日本生命保険相互会社〒113-8661  
東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート  
ニッセイダイレクト事務センター 電話番号0120-562-186(通話料無料)  
【受付時間】月～金曜日9:00～17:00(祝日、12/31～1/3を除く)  
ホームページアドレス <https://www.nissay.co.jp>募集代理店：  
株式会社三菱UFJ銀行

# 特別勘定の運用概況

< ニッセイ 投資型年金 (標準型) >

## 1 特別勘定のラインアップ

ファンドコード	特別勘定名	<主たる投資対象となる投資信託／投資信託委託会社> 投資信託の運用方針／投資リスク	ベンチマーク	信託報酬率
2136	日本株式型 (UP-AF)	<ファンド・オブ・オールスター・ファンズVA <sup>※1</sup> /三菱UFJアセットマネジメント> 主として国内の株式へ投資する投資信託証券に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。投資信託証券への投資にあたっては、組入対象とする各投資信託証券へ、当初同額ずつ投資を行います。原則として、資金増減に伴う買付けまたは売付けは、直前の投資比率に基づいて行います。投資信託証券への投資割合は、原則として高位を維持します。<組入対象とする投資信託証券>※組入対象とする投資信託証券は見直すことがあります。・三菱UFJ国際日本株・スター・ファンド(適格機関投資家用)・フィデリティ・日本株ファンド(適格機関投資家用)・GIMザ・ジャパン(適格機関投資家用)・三菱UFJ国際日本・小型株・ファンド(適格機関投資家用)・シュローダー日本ファンド(適格機関投資家専用) 【投資リスク】主に「株式の価格変動リスク」などがあります。	■国内株式 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) ■国内小型株式 RUSSELL/NOMURA Small Cap インデックス	年率0.253% (税抜0.23%) 〔実質年率 1.188% (税抜1.08%程度)〕 <sup>※2</sup>
2135	日本株式型 (FI-JG)	<フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3 <sup>※1</sup> /フィデリティ投信> 主として日本の株式に投資を行います。銘柄選択にあたっては、独自の企業調査にもとづき、長期的なスタンスでの成長性を重視します。株式の組入比率は、原則として高位を維持します。ただし、市況動向等により弾力的に変更を行う場合があります。 【投資リスク】主に「株式の価格変動リスク」などがあります。	TOPIX (配当金込)	年率0.968% (税抜0.88%)
2137	日本株式型 (UP-NK)	<インデックスファンド225VA <sup>※1</sup> /三菱UFJアセットマネジメント> 日経平均トータルリターン・インデックスに連動する投資成果をめざします。原則として日経平均トータルリターン・インデックス採用銘柄に等株数投資を行います。株式の実質投資比率は原則として高位を維持します。 【投資リスク】主に「株式の価格変動リスク」などがあります。	日経平均トータルリターン・インデックス	年率0.341% (税抜0.31%)
2156	世界株式型 (UP-GI)	<三菱UFJ 外国株式インデックスファンドVA <sup>※1</sup> /三菱UFJアセットマネジメント> MSCIロクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)と連動する投資成果をめざして運用を行います。外国株式インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、主にMSCIロクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)に採用されている株式に投資します。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 【投資リスク】主に「株式の価格変動リスク」、「為替変動リスク」などがあります。	MSCIロクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	年率0.506% (税抜0.46%)
2144	世界公社債型 (CG-US)	<フランクリン・テンプレート・米国短期債ファンドVA <sup>※1</sup> /フランクリン・テンプレート・ジャパン> 主として米ドル建債券に投資することにより米ドル短期金利を上回るインカムゲインの獲得を目指し、信託財産の米ドル原資産における安定した運用成果を目指します。モーゲージ証券、資産担保証券を中心に、国債、政府機関債、事業債等の投資適格債に投資を行い、ポートフォリオの平均格付をA-/A3格以上に維持することで安定的な収益の確保を目指します。また、ポートフォリオ全体の実効デュレーションを、通常0.5~1.0年(最大で1.5年)という短期に維持し、金利変動リスクを抑制します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 【投資リスク】主に「金利変動リスク」、「為替変動リスク」などがあります。	—	年率0.319%~0.55% (税抜0.29%~0.50%) (米国の3カ月物SOFR+スプレッド調整値により変動します。)
2145	世界公社債型 (CG-EU)	<フランクリン・テンプレート・ユーロ短期債ファンドVA <sup>※1</sup> /フランクリン・テンプレート・ジャパン> 主としてユーロ建債券に投資することによりユーロ短期金利を上回るインカムゲインの獲得を目指し、信託財産のユーロ原資産における安定した運用成果を目指します。モーゲージ証券、資産担保証券を中心に、国債、政府機関債、事業債等の投資適格債に投資を行い、ポートフォリオの平均格付をA-/A3格以上に維持することで安定的な収益の確保を目指します。また、ポートフォリオ全体の実効デュレーションを、通常0.1~1.0年(最大で1.5年)という短期に維持し、金利変動リスクを抑制します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 【投資リスク】主に「金利変動リスク」、「為替変動リスク」などがあります。	—	年率0.297% (税抜0.27%)
2105	バランス型 (NP-50)	<ニッセイグローバルバランス(標準型)SA <sup>※1</sup> /ニッセイアセットマネジメント> 日本を含む世界各国の株式および債券を実質的な主要投資対象とし、国内株式・国内債券・海外株式・海外債券への分散投資を通じて、リスクを低減しつつ投資信託財産の中長期的な成長を目指します。株式・債券へおおむね50%ずつ投資を行い、外貨建資産の実質組入比率を30%程度に保ち、中位のリスク・リターンを目指します。外貨建資産については原則として為替ヘッジは行いません。 【投資リスク】主に「株式の価格変動リスク」、「金利変動リスク」、「為替変動リスク」などがあります。	【各マザーファンド】 ■国内株式 TOPIX (東証株価指数) (配当込み) ■国内債券 NOMURA-BPI総合 ■海外株式 MSCI KOKUSA指数 (配当込み、円換算ベース) ■海外債券 FTSE世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース)	年率0.561% (税抜0.510%)

※1 適格機関投資家専用で設定される私募投資信託です。適格機関投資家向けであることを示す名称(適格機関投資家限定など)は省略して表記しています。

※2 ファンド・オブ・オールスター・ファンズVAは、投資信託証券を対象とするファンド・オブ・ファンズであり、投資対象とする投資信託の信託報酬が当該投資信託の純資産総額に対して年率0.935% (税抜0.85%) であるため、実質的な信託報酬は純資産総額に対して合計で年率1.188% (税抜1.08%程度) となります。

- 主たる投資対象となる投資信託の組入比率は、原則高位を維持しますが、保険契約の異動等に備え一定の現預金等を保有します。
- 《1 特別勘定のラインアップ》に記載の事項は概要を示しています。詳細については、別途ご提供する「特別勘定のしおり」をご確認ください。

- 当資料は、『ニッセイ投資型年金(標準型)』の各特別勘定について運用状況等を開示するための資料です。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 特別勘定のユニット価格の値動きは、特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の値動きとは異なります。これは特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備え、一定の現預金等を保有していることや、ユニット価格の計算にあたり、保険契約関係費等を控除することによります。
- 巻頭にご留意いただきたい事項を記載しておりますので、必ずご確認ください。他のページもご覧ください。

# 特別勘定の運用概況

< ニ ッ セ イ 投 資 型 年 金 ( 標 準 型 ) >

## 1 特別勘定のラインアップ(続き)

ファンドコード	特別勘定名	<主たる投資対象となる投資信託／投資信託委託会社> 投資信託の運用方針／投資リスク	ベンチマーク	信託報酬率
2106	バランス型 (GS-DV)	<p>&lt;ダ・ヴィンチ VA<sup>※1</sup> / ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント&gt;</p> <p>日本を含む先進国を中心とした世界の株式・債券および円短期金融商品に分散投資します。ゴールドマン・サックスが資産配分比率、株式・債券・通貨の国別配分比率の変更を行い、収益の向上を目指します。基本資産配分比率は、世界株式40%、世界債券40%、円短期金融商品20%です。</p> <p>【投資リスク】主に「株式の価格変動リスク」、「金利変動リスク」、「為替変動リスク」などがあります。</p>	<p>MSCIワールド・インデックス (100%為替円ヘッジ) 40%+JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス(グローバル)(100%為替円ヘッジ)40%+円1カ月TIBOR20%</p>	<p>年率0.99% (税抜0.90%)</p>
2161	日本マネー型 (A)	<p>コールローンや預金などの短期金融商品に投資し、安定したインカムゲインを追求します。 なお、当特別勘定では、日本生命が直接運用します。</p> <p>【投資リスク】主に「金利変動リスク」、「信用リスク」などがあります。</p>	—	—

※1 適格機関投資家専用を設定される私募投資信託です。適格機関投資家向けであることを示す名称(適格機関投資家限定など)は省略して表記しています。

- 主たる投資対象となる投資信託の組入比率は、原則高位を維持しますが、保険契約の異動等に備え一定の現預金等を保有します。
- 《1 特別勘定のラインアップ》に記載の事項は概要を示しています。詳細については、別途ご提供する「特別勘定のしおり」をご確認ください。

- 当資料は、『ニッセイ投資型年金(標準型)』の各特別勘定について運用状況等を開示するための資料です。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 特別勘定のユニット価格の値動きは、特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の値動きとは異なります。これは特別勘定が投資信託のほかには保険契約の異動等に備え、一定の現預金等を保有していることや、ユニット価格の計算にあたり、保険契約関係費等を控除することによります。
- 巻頭に「ご留意いただきたい事項」を記載しておりますので、必ずご確認ください。

他のページもご覧ください。

# 特別勘定の運用概況

< ニッセイ投資型年金(標準型) >

## 2 特別勘定の運用状況(ユニット価格および資産残高)

(2025年3月31日現在)

ファンドコード	特別勘定名	ユニット価格(円)			主たる投資対象となる投資信託	投信会社	組入比率	資産残高(百万円)
		今月末	騰落率	前月末				
2135	日本株式型(FI-JG)	32,703	0.27%	32,615	フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3(適格機関投資家専用)	フィデリティ投信	92.8%	42
2137	日本株式型(UP-NK)	36,560	-3.42%	37,854	インデックスファンド225VA	三菱UFJアセットマネジメント	95.9%	190
2156	世界株式型(UP-GI)	44,945	-3.62%	46,635	三菱UFJ 外国株式インデックスファンドVA	三菱UFJアセットマネジメント	97.0%	0
2144	世界公社債型(CG-US)	12,107	0.11%	12,094	フランクリン・テンブルトン・米国短期債ファンドVA(適格機関投資家専用)	フランクリン・テンブルトン・ジャパン	97.0%	34
2145	世界公社債型(CG-EU)	11,096	4.01%	10,668	フランクリン・テンブルトン・ユーロ短期債ファンドVA(適格機関投資家専用)	フランクリン・テンブルトン・ジャパン	97.0%	19
2105	バランス型(NP-50)	17,488	-0.57%	17,588	ニッセイグローバルバランス(標準型)SA(適格機関投資家限定)	ニッセイアセットマネジメント	97.0%	66
2106	バランス型(GS-DV)	11,948	-2.46%	12,250	ダ・ヴィンチ VA	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	97.0%	7
2161	日本マネー型(A)	6,772	-0.11%	6,780	(当特別勘定は日本生命が直接運用します)	-	-	83

※ ユニット価格(1万口当り)は、円未満を切り捨てて表示しています。

※ 資産残高の金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

※ 投資信託の組入比率は、発注等を加味した各特別勘定の実質的な組入比率です。

※ 日本マネー型(A)の資産の内訳

国債	0.0%
現預金・コールローン等	100.0%
合計	100.0%

■ 日本株式型(UP-AF)はただいまお取扱いができないため、掲載しておりません。

■ 当資料は、『ニッセイ投資型年金(標準型)』の各特別勘定について運用状況等を開示するための資料です。

■ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

■ 特別勘定のユニット価格の値動きは、特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の値動きとは異なります。これは特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備え、一定の現預金等を保有していることや、ユニット価格の計算にあたり、保険契約関係費等を控除することによります。

■ 巻頭に《ご留意いただきたい事項》を記載しておりますので、必ずご確認ください。

# 特別勘定の運用概況

< ニッセイ投資型年金(標準型) >

## 3 ユニット価格とユニット価格騰落率の状況

(2025年3月31日現在)



ユニット価格騰落率(%)				
1カ月	3カ月	6カ月	1年	設定来
0.27	-5.34	-2.43	-6.70	227.04



ユニット価格騰落率(%)				
1カ月	3カ月	6カ月	1年	設定来
-3.42	-10.11	-5.96	-11.65	265.61



ユニット価格騰落率(%)				
1カ月	3カ月	6カ月	1年	設定来
-3.62	-8.69	3.18	2.41	349.45



ユニット価格騰落率(%)				
1カ月	3カ月	6カ月	1年	設定来
0.11	-4.62	5.69	1.86	21.08



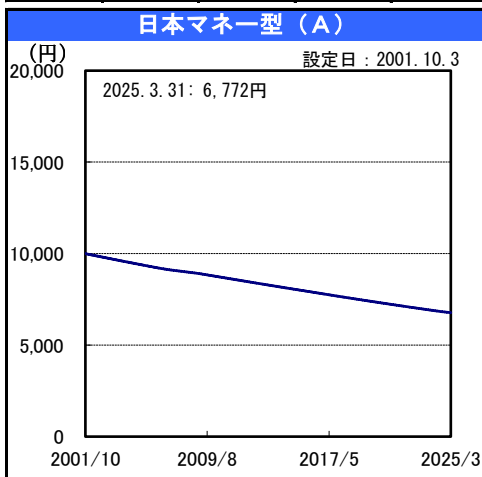
ユニット価格騰落率(%)				
1カ月	3カ月	6カ月	1年	設定来
4.01	-1.48	2.19	0.71	10.96



ユニット価格騰落率(%)				
1カ月	3カ月	6カ月	1年	設定来
-0.57	-3.91	-1.19	-2.13	74.89



ユニット価格騰落率(%)				
1カ月	3カ月	6カ月	1年	設定来
-2.46	-2.29	-3.54	-2.84	19.49



ユニット価格騰落率(%)				
1カ月	3カ月	6カ月	1年	設定来
-0.11	-0.33	-0.71	-1.52	-32.27

- 日本株式型(UP-AF)はただいまお取扱いができないため、掲載しておりません。
- 当資料は、『ニッセイ投資型年金(標準型)』の各特別勘定について運用状況等を開示するための資料です。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 特別勘定のユニット価格の値動きは、特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の値動きとは異なります。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備え、一定の現預金等を保有していることや、ユニット価格の計算にあたり、保険契約関係費等を控除することによります。
- 巻頭に《ご留意いただきたい事項》を記載しておりますので、必ずご確認ください。

# 特別勘定の運用概況

＜ ニ ッ セ イ 投 資 型 年 金 ( 標 準 型 ) ＞

## 4 お客様にご負担いただく費用について

\* 以下内容は将来変更されることがあります。

### ■ 据置(運用)期間中の費用

＜すべてのご契約者にご負担いただく費用＞

次の費用を控除したうえでユニット価格は計算されます。

項目	目的	費用	時期
保険契約関係費	当保険契約の締結および維持などに必要な費用ならびに基本給付金額を最低保証するための費用および災害死亡給付金を支払うための費用。	特別勘定の資産総額に対して …年率1.75%	特別勘定の資産総額に対して年率1.75%/365日を毎日控除します。
資産運用関係費 (※1)	特別勘定の運用にかかわる費用。 特別勘定の投資対象となる投資信託の信託報酬などが含まれます。	特別勘定ごとに異なります。 信託報酬率については、《1 特別勘定のラインアップ(P2)》をご参照ください。	各特別勘定の資産総額から所定の金額を毎日控除します。

※1 資産運用関係費には、信託報酬のほか信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金が含まれますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。お客様はこれらの費用を間接的に負担することとなります。資産運用関係費は、運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

＜特定のご契約者にご負担いただく費用＞

・特別勘定のユニット価格を計算した後に特定のご契約者にご負担いただきます。

項目	費用	時期
保険契約維持費	日本生命でご加入いただいているニッセイ投資型年金(標準型)の基本給付金額の合計額が200万円未満のとき(※2) 各契約から毎月…400円	契約時および月ごとの応当日の翌営業日に積立金から控除します。
貸付利息	日本生命所定の利率	契約応当日の翌営業日に積立金から控除します。
解約控除	契約日(増額分については増額日。以下同じ。)から解約日までの年数が10年未満の場合に、 契約日からの経過年数に応じ、基本給付金額に対して… 8.0%～0.8%(下表参照)	解約時に積立金から控除します。
	契約日(増額分については増額日。以下同じ。)から減額日までの年数が10年未満の場合に、 契約日からの経過年数に応じ、減額する基本給付金額(※3)に対して… 8.0%～0.8%(下表参照)	減額時に基本給付金額の減額分に対応する積立金から控除します。

※2 既に成立が確認されている契約および増額に基づいて判定を行います。

※3 増額が行われたご契約の減額については、契約日からの基本給付金額部分、増額日の古い基本給付金額部分の順で減額を行い、それぞれの経過年数に応じた解約控除を積立金から差引きます。

#### 解約控除率

契約日からの経過年数	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満	5年以上 6年未満	6年以上 7年未満	7年以上 8年未満	8年以上 9年未満	9年以上 10年未満
基本給付金額に対する解約控除率	8.0%	7.2%	6.4%	5.6%	4.8%	4.0%	3.2%	2.4%	1.6%	0.8%

### ■ 年金支払期間中の費用

次の費用を控除したうえで年金額は計算されます。年金特約付加による年金支払の場合も同様です。

年金種類	5年確定年金	左記以外
保険契約関係費	支払年金額に対して…0.58%	支払年金額に対して…1.00%

年金支払開始日以降、年1回の年金支払日に責任準備金から控除されます。

\* 年金特約の年金については2017年4月1日以降、主契約の年金については2017年7月1日以降、上記の率が適用されます。

\* 年金支払期間中の費用は、将来変更される可能性があります。

当商品に係る費用の合計額は《据置(運用)期間中の費用(「保険契約関係費」・「資産運用関係費」)》《年金支払期間中にかかる費用(保険契約関係費)》の合計となります。また、特定のお客様には《保険契約維持費》《貸付利息》《解約控除》がかかります。

ご契約に際しては、「特に重要なお知らせ(契約概要・注意喚起情報)」「ご契約のしおりー約款」「特別勘定のしおり」を必ずご確認ください。

■当資料は、『ニッセイ投資型年金(標準型)』の各特別勘定について運用状況等を開示するための資料です。

■当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

■特別勘定のユニット価格の値動きは、特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の値動きとは異なります。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備え、一定の現預金等を保有していることや、ユニット価格の計算にあたり、保険契約関係費等を控除することによります。

■巻頭に《ご留意いただきたい事項》を記載しておりますので、必ずご確認ください。

【特別勘定名】日本株式型(FI-JG)  
 【投資信託名】フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3  
 (適格機関投資家専用)

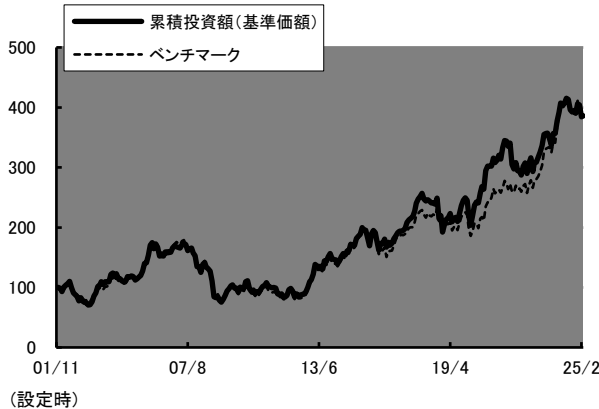
【投資信託委託会社】  
 フィデリティ投信株式会社

- 当資料は、ニッセイ投資型年金の特別勘定が主たる投資対象とする投資信託について運用状況等を開示するための資料です。当資料で開示される投資信託の運用状況等は、あくまで参考情報であり、お客様が直接投資信託を購入・保有するものではありません。
- 当資料は、投資信託委託会社からの運用報告を日本生命が提供するものであり、日本生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。また、当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 特別勘定の運用状況等については、「特別勘定の運用概況」をご覧ください。

- ① 主として日本株を投資対象とします。  
 ② 個別企業分析により、成長企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行ないます。

### 設定来の運用実績 (2025年3月31日現在)

(2001.11.29=100)



※ファンド設定時(2001年11月29日)を100として指数化。※基準価額は運用管理費用控除後のものです。※累積投資額は、収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。

### コメント (2025年3月31日現在)

当月の東京株式市場は、前月に続いて米国の追加関税が世界経済に与える影響が懸念され、上値の重い推移となりました。中国に対する関税引き上げや、カナダ・メキシコに対する追加関税の発動など、トランプ政権が打ち出す関税政策に対する警戒感が高まる中で、株価は軟調に始まりまし。しかし、カナダ・メキシコに対する関税に猶予措置が取られたことや、為替が円安方向に振れたことなどから、中旬には日本株は上昇に転じ、調整色を強めていた米国株が持ち直したことも支えとなって、TOPIXは2024年7月以来となる高値水準を回復しました。月末近くには、米政権が発表した輸入自動車に対する追加関税に加え、全世界を対象として貿易相手国と同水準まで関税率を引き上げる相互関税などが世界経済に与える影響が警戒され、株価は大きく下落して月を終えました。長期金利上昇を背景に上昇した金融株などが支えとなって底堅く推移したTOPIXに対し、米中対立が懸念された半導体関連株の株価調整が響いた日経平均株価は弱含み、両指数の月間の動きには差が見られました。月間の騰落率は、TOPIX(配当込)が+0.22%、日経平均株価は-4.14%でした。

※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。

### ポートフォリオの状況 (マザーファンド・ベース) (2025年2月28日現在)

#### 資産別組入状況

株式	98.5%
新株予約権証券(ワラント)	-
投資信託・投資証券	-
現金・その他	1.5%

#### 市場別組入状況

東証プライム	96.4%
東証スタンダード	1.7%
東証グロース	0.5%
その他市場	-

#### 組入上位5業種

電気機器	20.5%
銀行業	10.9%
輸送用機器	8.3%
小売業	6.6%
卸売業	5.6%

(対純資産総額比率)

- \* 各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。  
 \* 業種は東証33業種に準じて表示しています。  
 \* 未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、ファンドの推奨(有価証券の勧誘)を目的としたものではありません。本資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、厳密な意味での正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

### 商品概要

形態	追加型投信/国内/株式
投資対象	日本の株式等
設定日	2001年11月29日
信託期間	原則無期限
決算日	原則、毎年11月30日(休業日のときは翌営業日)

### 累積リターン

(2025年3月31日現在)

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.43%	-5.09%	-1.64%	-5.31%	25.19%	285.82%
ベンチマーク	0.22%	-3.44%	1.81%	-1.55%	47.24%	296.86%

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。

※ベンチマーク: TOPIX(配当込)

\* TOPIX(配当込)は、日本の株式市場を広く網羅するとともに投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されており、配当を考慮したものです。

\* 東証株価指数(TOPIX)(以下「TOPIX」という。)の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。

### 過去5期分の収益分配金(1万口当たり/税込)

第19期(2020.11.30)	0円
第20期(2021.11.30)	0円
第21期(2022.11.30)	0円
第22期(2023.11.30)	0円
第23期(2024.12.02)	0円

純資産総額 1,357.1 億円 (2025年3月31日現在)

### 組入上位10銘柄 (マザーファンド・ベース)

(2025年2月28日現在)

	銘柄	業種	比率
1	ソニーグループ	電気機器	5.2%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.8%
3	日立製作所	電気機器	4.2%
4	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.7%
5	伊藤忠商事	卸売業	2.9%
6	リクルートホールディングス	サービス業	2.9%
7	キーエンス	電気機器	2.9%
8	トヨタ自動車	輸送用機器	2.6%
9	東京海上ホールディングス	保険業	2.6%
10	豊田自動織機	輸送用機器	2.4%

(組入銘柄数: 171)

上位10銘柄合計 34.3%

(対純資産総額比率)

【特別勘定名】日本株式型(UP-NK)  
【投資信託名】インデックスファンド225VA

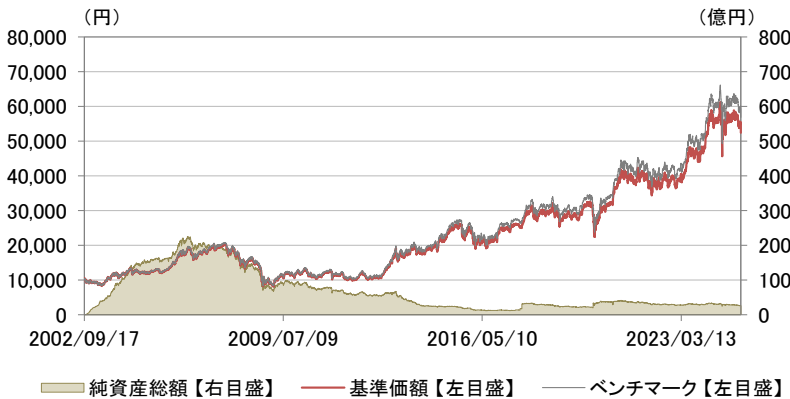
【投資信託委託会社】  
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

- 当資料は、ニッセイ投資型年金の特別勘定が主たる投資対象とする投資信託について運用状況等を開示するための資料です。  
当資料で開示される投資信託の運用状況等は、あくまで参考情報であり、お客様が直接投資信託を購入・保有するものではありません。
- 当資料は、投資信託委託会社からの運用報告を日本生命が提供するものであり、日本生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。  
また、当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 特別勘定の運用状況等については、「特別勘定の運用概況」をご覧ください。

## ■商品概要

主要投資対象	日経225マザーファンド受益証券(日本の株式)
運用方針	①日経225マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、国内の株式に直接投資することがあります。 ②この投資信託は、日経平均トータルリターン・インデックス(日経225(配当込み))と連動する投資成果をめざして運用を行います。 ③受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。
設定日	2002年9月17日
信託期間	無期限
決算日	毎年2月22日(休業日の場合、翌営業日)
信託報酬	純資産総額に対し、年率0.3410%(税抜 年率0.31%)

## ■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。  
・ベンチマークは、設定日前営業日を10,000として指数化しています。

## ■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-3.4%	-10.0%	-5.3%	-10.4%	34.5%	424.6%
ベンチマーク	-3.3%	-9.9%	-5.1%	-10.1%	36.0%	468.6%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。  
また、換金時の費用・税金等は考慮していません。  
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。  
・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

## ■組入上位10業種

業種	比率	ベンチマーク 構成比
1 電気機器	23.9%	24.3%
2 小売業	12.6%	14.0%
3 情報・通信業	11.8%	12.0%
4 医薬品	5.8%	5.9%
5 化学	5.8%	5.9%
6 サービス業	4.6%	4.4%
7 機械	4.5%	4.6%
8 輸送用機器	4.1%	4.1%
9 精密機器	3.7%	3.8%
10 卸売業	3.1%	3.1%

## ■組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率	ベンチマーク 構成比
1 ファーストリテイリング	小売業	9.6%	11.0%
2 東京エレクトロン	電気機器	5.5%	5.6%
3 アドバンテスト	電気機器	4.7%	4.8%
4 ソフトバンクグループ	情報・通信業	4.1%	4.1%
5 KDDI	情報・通信業	2.6%	2.6%
6 TDK	電気機器	2.1%	2.1%
7 リクルートホールディングス	サービス業	2.1%	2.1%
8 テルモ	精密機器	2.0%	2.1%
9 信越化学工業	化学	1.9%	2.0%
10 中外製薬	医薬品	1.9%	1.9%

組入銘柄数: 225銘柄

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・業種は、東証33業種で分類しています。・日経平均トータルリターン・インデックス(日経225(配当込み))とは、東京証券取引所プライム市場上場銘柄のうち代表的な225銘柄を対象として日本経済新聞社により算出、公表される株価指数です。当指数は、増資・権利落ち等の市況とは無関係の株価変動要因を修正して連続性を持たせたものです。当指数に関する知的財産権その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。日本経済新聞社は、当指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。当指数は、日本経済新聞社によって独自に開発された手法によって、算出される著作物であり、日本経済新聞社は、当指数自体および当指数を算定する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有しています。「日経」および当指数を示す標準に関する商標権その他の知的財産権は、すべて日本経済新聞社に帰属しています。当ファンドは、委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、日本経済新聞社は、その運用および当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。日本経済新聞社は、当指数を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延または中断に関して、責任を負いません。日本経済新聞社は、当指数の構成銘柄、計算方法、その他当指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。



【特別勘定名】世界株式型(UP-GI)  
 【投資信託名】三菱UFJ 外国株式インデックスファンドVA

【投資信託委託会社】  
 三菱UFJアセットマネジメント株式会社

- 当資料は、ニッセイ投資型年金の特別勘定が主たる投資対象とする投資信託について運用状況等を開示するための資料です。当資料で開示される投資信託の運用状況等は、あくまで参考情報であり、お客様が直接投資信託を購入・保有するものではありません。
- 当資料は、投資信託委託会社からの運用報告を日本生命が提供するものであり、日本生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。また、当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 特別勘定の運用状況等については、「特別勘定の運用概況」をご覧ください。

## ■商品概要

主要投資対象	外国株式インデックスマザーファンド受益証券(外国株式)
運用方針	①主として外国株式インデックスマザーファンドを通じて投資します。 ②MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)をベンチマークとし、ベンチマークと連動する投資成果をめざします。 ③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
設定日	2003年11月28日
信託期間	無期限
決算日	毎年2月22日(休業日の場合、翌営業日)
信託報酬	純資産総額に対し、年率0.5060%(税込 年率0.46%)

## ■基準価額および純資産総額の推移



\*基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。  
 \*基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。  
 \*ベンチマークは、設定日前営業日を10,000として指数化しています。

## ■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-3.6%	-8.6%	2.8%	5.9%	49.1%	657.9%
ベンチマーク	-3.7%	-8.5%	2.9%	6.3%	50.4%	710.1%

\*実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。  
 \*また、換金時の費用・税金等は考慮していません。  
 \*設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。  
 \*分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

## ■組入上位10業種

業種	比率
1 ソフトウェア・サービス	9.5%
2 半導体・半導体製造装置	7.8%
3 金融サービス	7.5%
4 資本財	7.2%
5 医薬品・バイオテクノ・ライフ	7.1%
6 テクノロジ・ハードウェア・機器	6.5%
7 メディア・娯楽	6.4%
8 銀行	6.1%
9 一般消費財・サービス流通・小売り	4.9%
10 エネルギー	4.2%

## ■組入上位10銘柄

銘柄	国・地域	業種	比率
1 APPLE INC	アメリカ	テクノロジ・ハードウェア・機器	5.0%
2 NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	4.1%
3 MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.1%
4 AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.8%
5 META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	1.9%
6 ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	1.7%
7 TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	1.2%
8 BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.2%
9 BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	アメリカ	金融サービス	1.1%
10 JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	1.0%

組入銘柄数: 1,169銘柄

## ■基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	75,787円
前月末比	-2,863円
純資産総額	1.45億円

## ■分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第22期	2025/02/25	0円
第21期	2024/02/22	0円
第20期	2023/02/22	0円
第19期	2022/02/22	0円
第18期	2021/02/22	0円
第17期	2020/02/25	0円
設定来累計		0円

## ■資産構成

	比率
実質外国株式	100.1%
内 現物	98.4%
内 先物	1.6%
コールローン他	-0.1%

## ■組入上位10カ国・地域

国・地域	比率
1 アメリカ	75.0%
2 イギリス	4.0%
3 カナダ	3.2%
4 フランス	3.0%
5 スイス	2.7%
6 ドイツ	2.6%
7 オーストラリア	1.8%
8 オランダ	1.1%
9 スウェーデン	0.9%
10 スペイン	0.8%

\*本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。\*表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。\*原則として、比率は純資産総額に対する割合です。\*コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。\*国・地域は原則、主要取引所所在地で分類しています。\*REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。\*業種は、GICS(世界産業分類基準)で分類しています。\*MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。\*Global Industry Classification Standard("GICS")は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor's)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

【特別勘定名】世界公社債型(CG-US)  
 【投資信託名】フランクリン・templton・米国短期債ファンドVA  
 (適格機関投資家専用)

【投資信託委託会社】  
 フランクリン・templton・  
 ジャパン株式会社

- 当資料は、ニッセイ投資型年金の特別勘定が主たる投資対象とする投資信託について運用状況等を開示するための資料です。当資料で開示される投資信託の運用状況等は、あくまで参考情報であり、お客様が直接投資信託を購入・保有するものではありません。
- 当資料は、投資信託委託会社からの運用報告を日本生命が提供するものであり、日本生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。また、当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 特別勘定の運用状況等については、「特別勘定の運用概況」をご覧ください。

【純資産総額】

純資産総額	約0.6億円
-------	--------

【基準価額の騰落率】

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
円ベース	0.26%	-4.34%	6.73%	3.62%	36.13%	83.11%
ドルベース	0.36%	1.20%	1.89%	4.93%	11.43%	49.90%

上記ドルベース騰落率は、当ファンドの基準価額を投資信託協会が発表する同日の為替レートを用いて米ドル換算したもので、当ファンドの米ドルベースの元本の安定性を示すことを目的としており、基準価額の推移を示すものではありません。

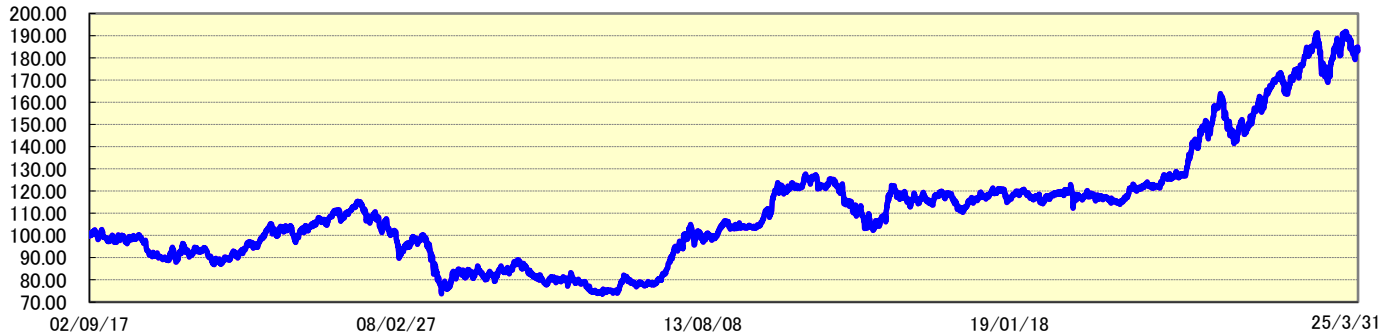
【ポートフォリオの概略】 (マザーファンドベース)

米ドル/円レート	149.52	米国3ヶ月国債利回り	4.292%
現物債比率	44.54%	平均格付け*	AA
現金等	55.46%	実効デュレーション	0.63
組入銘柄数	71	設定日(当ファンド)	2002/09/17
加重平均利回り	4.47%	経過日数	8,232日

\* 平均格付けとは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付けを加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付けではありません。

【設定来の運用実績】

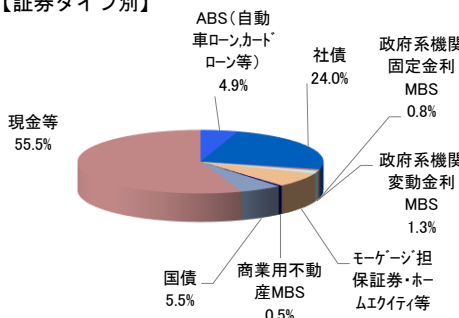
基準価額は信託報酬(純資産総額に対し年率0.319%(税抜0.29%)~0.55%(税抜0.50%))控除後のものです。  
 (設定日前日=100として指数化)



\* 基準価額は設定日前日(2002年9月16日)を100として指数化しています。  
 \* 市場に広く認知されているベンチマークで、当ファンドのリスク特性を正確に反映できる指標が存在しないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマークと比較しておりません。

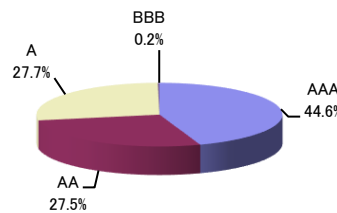
【ポートフォリオの資産構成/タイプ別】 (マザーファンドベース)

【証券タイプ別】



\*1 資産配分は、将来において変更されることがあります。  
 \*2 現金等には米国短期国債・CD等を含みます。

【格付け別】



注: 格付け別およびクーポンタイプ別の資産配分は投資有価証券を対象として算出・作成しており、キャッシュ部分は含まれておりません。格付け別の資産配分は、S&P、ムーディーズおよびフィッチ・レーティングスのうち最上位の格付けで算出・作成しています。

【クーポンタイプ別】



【保有上位10銘柄】 (銘柄総数 : 71、マザーファンドベース)

銘柄名	クーポン (%)	償還日	セクター	信用格付け			利回り (%)	実効デュレーション	組入れ比率 (%)
				S&P	Moody's	Fitch			
1 US TREASURY NOTE	4.250	2026年1月31日	国債	AA+	Aaa	AA+	4.17	0.82	2.23
2 US TREASURY NOTE	4.500	2026年3月31日	国債	AA+	Aaa	AA+	4.10	0.96	1.82
3 ADVANCED MICRO DEVICES	4.319	2028年3月24日	社債	A	A2	NR	4.08	2.71	1.49
4 US TREASURY NOTE	4.500	2027年4月15日	国債	AA+	Aaa	AA+	3.93	1.90	1.47
5 Ford Credit Floorplan Master Owner Trust	1.060	2027年9月15日	自動車ローン担保証券	NR	Aaa	AAA	4.73	0.45	1.17
6 SLM Student Loan Trust	5.104	2028年6月26日	学生ローン担保証券	NR	Aaa	AA+	5.46	-0.06	1.12
7 WELLS FARGO & COMPANY	4.540	2026年8月15日	社債	BBB+	A1	A+	4.66	0.37	1.11
8 GNMA 2017 H15 FC	4.893	2067年6月20日	モーゲージ担保証券・ホームエクイティ等	AA+	Aaa	AA+	4.58	0.03	1.08
9 MORGAN STANLEY	4.679	2026年7月17日	社債	A-	A1	A+	4.72	0.30	1.08
10 CATERPILLAR FINL SERVICE	5.000	2027年5月14日	社債	A	A2	A+	4.28	1.97	1.07

当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用概況等は、当資料作成時点での見解に基づくものです。また予告なく変更されることがあります。

【特別勘定名】世界公社債型(CG-EU)  
 【投資信託名】フランクリン・templton・ユーロ短期債ファンドVA  
 (適格機関投資家専用)

【投資信託委託会社】  
 フランクリン・templton・  
 ジャパン株式会社

- 当資料は、ニッセイ投資型年金の特別勘定が主たる投資対象とする投資信託について運用状況等を開示するための資料です。  
 当資料で開示される投資信託の運用状況等は、あくまで参考情報であり、お客様が直接投資信託を購入・保有するものではありません。  
 ■当資料は、投資信託委託会社からの運用報告を日本生命が提供するものであり、日本生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。  
 また、当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
 ■特別勘定の運用状況等については、「特別勘定の運用概況」をご覧ください。

## 【純資産総額】

純資産総額 約0.4億円

## 【基準価額の騰落率】

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
円ベース	4.30%	-1.09%	2.97%	2.58%	26.72%	72.87%
ユーロベース	0.13%	0.64%	1.29%	3.31%	6.88%	26.20%

上記ユーロベース騰落率は、当ファンドの基準価額を投資信託協会が発表する同日の為替レートを用いてユーロ換算したもので、当ファンドのユーロベースの元本の安定性を示すことを目的としており、基準価額の推移を示すものではありません。

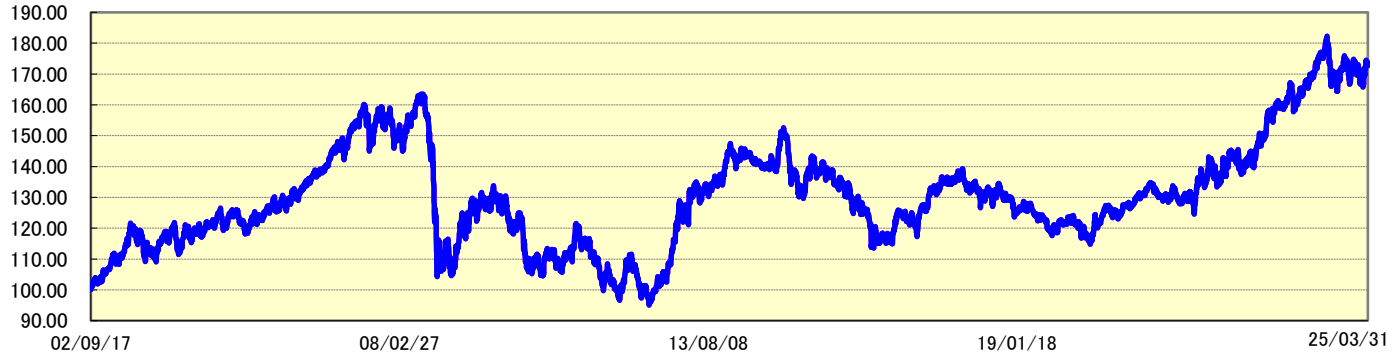
## 【ポートフォリオの概略】(マザーファンドベース)

ユーロ/円レート	162.08	仏3ヶ月国債利回り	2.282%
現物債比率	91.53%	平均格付け*	A+
現金等	8.47%	実効デュレーション	0.47
組入銘柄数	47	設定日(当ファンド)	2002/09/17
加重平均利回り	2.58%	経過日数	8,232日

\* 平均格付けとは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付けを加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付けではありません。

## 【設定来の運用実績】

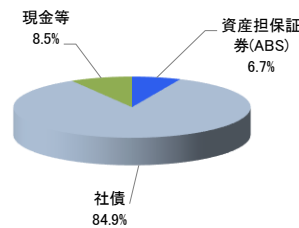
基準価額は信託報酬(純資産総額に対し年率0.297%(税抜0.27%))控除後のものです。  
 (設定日前日=100として指数化)



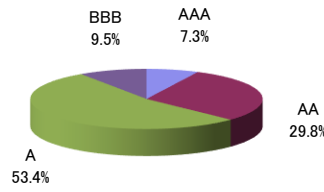
\* 基準価額は設定日前日(2002年9月16日)を100として指数化しています。  
 \* 市場に広く認知されているベンチマークで、当ファンドのリスク特性を正確に反映できる指標が存在しないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマークと比較しておりません。

## 【ポートフォリオの資産構成/タイプ別】(マザーファンドベース)

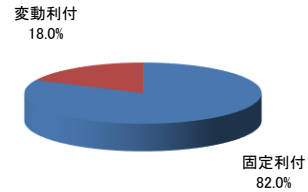
## 【証券タイプ別】



## 【格付け別】



## 【クーポンタイプ別】



\* 資産配分は、将来において変更されることがあります。

注: 格付け別およびクーポンタイプ別の資産配分は投資有価証券を対象として算出・作成しており、キャッシュ部分は含まれておりません。  
 格付け別の資産配分は、S&P、ムーディーズおよびフィッチ・レーティングスのうち最上位の格付けで算出・作成しています。

## 【保有上位10銘柄】(銘柄総数: 47、マザーファンドベース)

	銘柄名	クーポン (%)	償還日	セクター	信用格付け			利回り (%)	実効デュレーション	組入れ比率 (%)
					S&P	Moody's	Fitch			
1	JPMorgan Chase & Co	1.090	2027年3月11日	社債	A	A1	AA-	2.69	0.94	2.98
2	LLOYDS BANKING GROUP PLC	1.500	2027年9月12日	社債	BBB+	A3	A+	2.73	2.35	2.96
3	BANCO SANTANDER SA	3.625	2026年9月27日	社債	A+	A2	A+	2.69	0.50	2.90
4	ABN AMRO BANK NV	3.625	2026年1月10日	社債	A	Aa3	A+	2.40	0.77	2.88
5	PROLOGIS INTL FUND II	1.876	2025年4月17日	社債	A-	A3	NR	3.86	0.05	2.88
6	KBC GROUP NV	0.625	2025年4月10日	社債	A-	A3	A	2.12	0.04	2.85
7	BPCE SA	1.750	2027年4月26日	社債	A+	A1	A+	2.67	1.97	2.83
8	ROYAL BANK OF CANADA	0.625	2026年3月23日	資産担保証券(ABS)	NR	Aaa	AAA	2.32	0.96	2.79
9	HSBC HOLDINGS PLC	3.000	2025年6月30日	社債	BBB	Baa1	A-	3.00	0.25	2.61
10	BANK OF NOVA SCOTIA	0.125	2026年9月4日	社債	A-	A2	AA-	2.47	1.40	2.29

当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用概況等は、当資料作成時点での見解に基づくものです。また予告なく変更されることがあります。

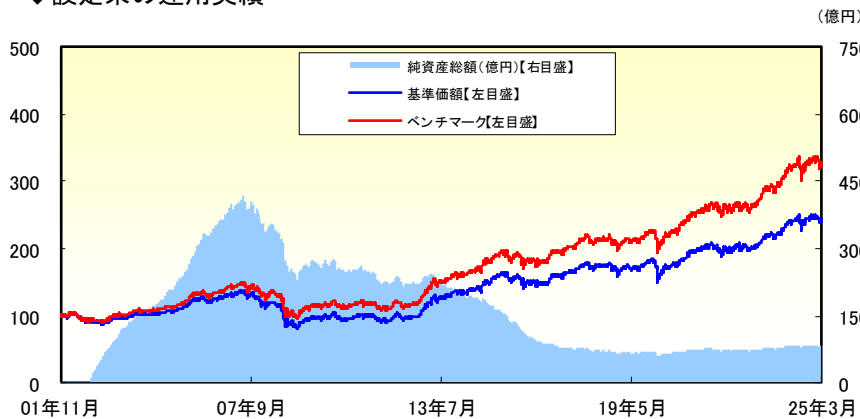
【特別勘定名】バランス型(NP-50)  
 【投資信託名】ニッセイグローバルバランス(標準型)SA  
 (適格機関投資家限定)

【投資信託委託会社】  
 ニッセイアセットマネジメント  
 株式会社

■当資料は、ニッセイ投資型年金の特別勘定が主たる投資対象とする投資信託について運用状況等を開示するための資料です。  
 当資料で開示される投資信託の運用状況等は、あくまで参考情報であり、お客様が直接投資信託を購入・保有するものではありません。  
 ■当資料は、投資信託委託会社からの運用報告を日本生命が提供するものであり、日本生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。  
 また、当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
 ■特別勘定の運用状況等については、「特別勘定の運用概況」をご覧ください。

- ・主な投資対象 …… 主としてマザーファンドを通じて、国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、短期金融資産に投資します
- ・ベンチマーク …… 各投資対象に定められたベンチマークを基準資産配分の比率にて按分した合成ベンチマーク
- ・目標とする運用成果 …… 中長期的に各投資対象に定められたベンチマークを上回る投資成果をめざします

◆設定来の運用実績



注) 上記のグラフは設定日を100として、指数化したものです。  
 当ファンドの信託報酬率は純資産総額に対し年率0.561%(税抜0.51%)です。  
 基準価額の算出にあたっては信託報酬を控除してあります。

◆基準価額・純資産

基準価額	24,056円
前月末比	-105円
純資産総額	80億円

◆運用実績(税引前分配金再投資基準価額の騰落率)

	1か月間	3か月間	6か月間	1年間	3年間	設定来
ファンド	-0.43%	-3.60%	-0.29%	-0.38%	19.38%	140.56%
ベンチマーク	-0.86%	-3.80%	0.22%	0.01%	21.99%	224.72%
差異	0.43%	0.20%	-0.51%	-0.39%	-2.61%	-84.16%

◆投資対象ファンド組入比率と騰落率

	投資対象ファンド	基準配分	投資対象ファンド 組入比率	投資対象ファンド騰落率			
				1か月	3か月	6か月	
国内株式	国内株式配当利回り重視型	30.0%	30.3%	6.1%	0.8%	-3.5%	1.1%
	JPX日経400アクティブ			14.8%	-0.2%	-6.5%	-2.5%
	国内株式リサーチ・バリュー			9.4%	1.2%	0.2%	7.3%
	—			—	—	—	
国内債券	国内公社債クレジット特化型	35.0%	35.5%	17.7%	-0.9%	-2.1%	-3.0%
	国内債券アクティブ(金利戦略重視型)			17.8%	-0.8%	-2.0%	-3.1%
	—			—	—	—	
外国株式	ブラウン・グローバル・リーダーズ株式	20.0%	19.1%	9.6%	-1.3%	-10.8%	—
	サンダース・グローバルバリュー株式II			9.6%	-1.8%	-7.7%	—
	—			—	—	—	
外国債券	パトナム・海外債券	10.0%	10.2%	10.2%	1.1%	-2.9%	2.1%
短期金融資産	—	5.0%	4.9%	4.9%	—	—	—

※組入比率は対純資産総額比  
 ※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。  
 ※ファンド騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

■当資料はニッセイアセットマネジメント株式会社が信頼できると思われる情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ■上記の実績・データ等は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。  
 ■上記に示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

【特別勘定名】バランス型(NP-50)  
 【投資信託名】ニッセイグローバルバランス(標準型)SA  
 (適格機関投資家限定)

【投資信託委託会社】  
 ニッセイアセットマネジメント  
 株式会社

- 当資料は、ニッセイ投資型年金の特別勘定が主たる投資対象とする投資信託について運用状況等を開示するための資料です。当資料で開示される投資信託の運用状況等は、あくまで参考情報であり、お客様が直接投資信託を購入・保有するものではありません。
- 当資料は、投資信託委託会社からの運用報告を日本生命が提供するものであり、日本生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。また、当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 特別勘定の運用状況等については、「特別勘定の運用概況」をご覧ください。

◆投資対象ファンドの状況

ニッセイ国内株式配当利回り重視型マザーファンド

◆組入上位銘柄 (銘柄数: 62)

	銘柄	比率
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	5.4%
2	トヨタ自動車	4.9%
3	三井住友フィナンシャルグループ	4.6%
4	東京海上ホールディングス	4.1%
5	三菱商事	3.7%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

◆組入上位業種

	業種	比率
1	電気機器	14.5%
2	銀行業	12.1%
3	輸送用機器	9.0%
4	化学	6.7%
5	情報・通信業	6.4%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

ニッセイJPX日経400アクティブマザーファンド

◆組入上位銘柄 (銘柄数: 43)

	銘柄	比率
1	三井住友フィナンシャルグループ	6.3%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	4.6%
3	東京海上ホールディングス	4.0%
4	日立製作所	4.0%
5	三菱重工業	3.9%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

◆組入上位業種

	業種	比率
1	電気機器	17.0%
2	銀行業	16.0%
3	情報・通信業	11.8%
4	医薬品	10.6%
5	卸売業	9.0%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

ニッセイ国内株式リサーチ・バリューマザーファンド

◆組入上位銘柄 (銘柄数: 84)

	銘柄	比率
1	三井住友フィナンシャルグループ	4.4%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	4.3%
3	トヨタ自動車	3.8%
4	ソニーグループ	3.7%
5	日本電信電話	2.5%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

◆組入上位業種

	業種	比率
1	電気機器	17.8%
2	化学	11.6%
3	銀行業	10.2%
4	輸送用機器	7.4%
5	陸運業	5.9%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

■当資料はニッセイアセットマネジメント株式会社が信頼できると思われる情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ■上記の実績・データ等は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。  
 ■上記に示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

【特別勘定名】バランス型(NP-50)  
 【投資信託名】ニッセイグローバルバランス(標準型)SA  
 (適格機関投資家限定)

【投資信託委託会社】  
 ニッセイアセットマネジメント  
 株式会社

- 当資料は、ニッセイ投資型年金の特別勘定が主たる投資対象とする投資信託について運用状況等を開示するための資料です。当資料で開示される投資信託の運用状況等は、あくまで参考情報であり、お客様が直接投資信託を購入・保有するものではありません。
- 当資料は、投資信託委託会社からの運用報告を日本生命が提供するものであり、日本生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。また、当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 特別勘定の運用状況等については、「特別勘定の運用概況」をご覧ください。

ニッセイ／ブラウン・グローバル・リーダーズ株式マザーファンド

◆組入上位銘柄 (銘柄数:34)

	銘柄	比率
1	マイクロソフト	7.5%
2	ドイツ証券取引所	5.8%
3	ロンドン証券取引所グループ	5.0%
4	アルファベット(C)	4.4%
5	ユニリーバ	4.3%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

◆組入上位国・地域

	国・地域	比率
1	アメリカ	53.0%
2	イギリス	11.2%
3	ドイツ	7.8%
4	オランダ	4.4%
5	スイス	3.3%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。  
 ・国・地域はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ／サンダース・グローバルバリュー株式Ⅱマザーファンド

◆組入上位銘柄 (銘柄数:63)

	銘柄	比率
1	メタ・プラットフォームズ	6.5%
2	台湾セミコンダクター(TSMC)	5.9%
3	マイクロソフト	5.3%
4	アルファベット(C)	5.2%
5	HCAヘルスケア	4.0%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

◆組入上位国・地域

	国・地域	比率
1	アメリカ	54.4%
2	イギリス	8.8%
3	フランス	5.9%
4	台湾	5.9%
5	スイス	5.4%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。  
 ・国・地域はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

■当資料はニッセイアセットマネジメント株式会社が信頼できると思われる情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ■上記の実績・データ等は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。  
 ■上記に示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

【特別勘定名】バランス型(NP-50)  
 【投資信託名】ニッセイグローバルバランス(標準型)SA  
 (適格機関投資家限定)

【投資信託委託会社】  
 ニッセイアセットマネジメント  
 株式会社

- 当資料は、ニッセイ投資型年金の特別勘定が主たる投資対象とする投資信託について運用状況等を開示するための資料です。当資料で開示される投資信託の運用状況等は、あくまで参考情報であり、お客様が直接投資信託を購入・保有するものではありません。
- 当資料は、投資信託委託会社からの運用報告を日本生命が提供するものであり、日本生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。また、当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 特別勘定の運用状況等については、「特別勘定の運用概況」をご覧ください。

ニッセイ国内公社債クレジット特化型マザーファンド

◆ポートフォリオ情報

平均格付	※1	AA-
平均修正デュレーション	※2	8.58年
平均最終利回り	※3	1.81%

- ※1 格付は、R&I、JCR、ムーディーズ、S&Pのうち、上位の格付を採用しております。また平均格付とは、投資対象ファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、当ファンドにかかる格付ではありません。
- ※2「デュレーション」=債券投資におけるリスク度合いを表す指標の一つで、金利変動に対する債券価格の反応の大きさ(リスクの大きさ)を表し、デュレーションが長いほど債券価格の反応は大きくなります。
- ※3「最終利回り」=満期までの保有を前提とすると、債券の購入日から償還日までに入ってくる受取利息や償還差損益(額面と購入価額の差)等の合計額が投資元本に対して1年当たりどれくらいになるかを表す指標です。
- \* 繰上償還等を考慮して計算しています。  
 (※2~※3の注釈については、以下同じです。)

◆組入種別

種別	比率
国債	38.8%
地方債	—
政府保証債	—
金融債	—
事業債	55.8%
円建外債	4.0%
MBS・ABS	0.9%
先物	—

\*比率は純資産総額に対する割合です。

ニッセイ国内債券アクティブ(金利戦略重視型)マザーファンド

◆ポートフォリオ情報

平均格付	※1	AA+
平均修正デュレーション	※2	8.59年
平均最終利回り	※3	1.46%

- ※1 格付は、R&I、JCR、ムーディーズ、S&Pのうち、上位の格付を採用しております。また平均格付とは、投資対象ファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、当ファンドにかかる格付ではありません。
- \* 繰上償還等を考慮して計算しています。

◆組入種別

種別	比率
国債	68.6%
地方債	—
政府保証債	—
金融債	—
事業債	23.8%
円建外債	1.8%
MBS・ABS	0.8%
先物	— 6.9%

\*比率は純資産総額に対する割合です。

ニッセイ/パトナム・海外債券マザーファンド

◆ポートフォリオ情報

平均格付	※1	AA
平均デュレーション	※2	5.42年
平均最終利回り	※3	3.45%

- ※1 原則として格付は、ムーディーズ、S&P、フィッチレーティングスのうち上位の格付を採用しております。また平均格付とは、投資対象ファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、当ファンドにかかる格付ではありません。
- \* ファンドの運用委託先であるフランクリン・アドバイザーズ・インクのデータに基づき、現地月末営業日を基準に作成しています。

◆組入上位国・地域

	国・地域	比率
1	アメリカ	46.1%
2	フランス	7.3%
3	イタリア	7.0%
4	イギリス	5.4%
5	ドイツ	4.6%

\*比率は純資産総額に対する割合です。

\*国・地域はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

■当資料はニッセイアセットマネジメント株式会社が信頼できると思われる情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ■上記の実績・データ等は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。  
 ■上記に示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

【特別勘定名】バランス型(GS-DV)  
【投資信託名】ダ・ヴィンチVA

【投資信託委託会社】  
ゴールドマン・サックス・  
アセット・マネジメント株式会社

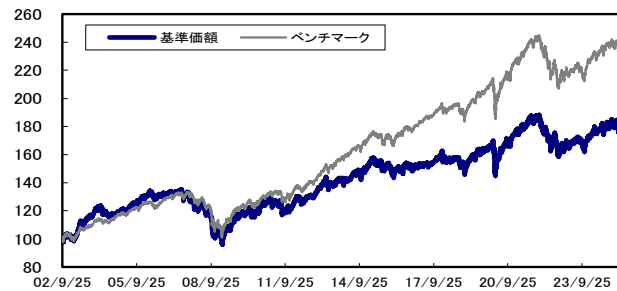
■当資料は、ニッセイ投資型年金の特別勘定が主たる投資対象とする投資信託について運用状況等を開示するための資料です。  
当資料が開示される投資信託の運用状況等は、あくまで参考情報であり、お客様が直接投資信託を購入・保有するものではありません。  
■当資料は、投資信託委託会社からの運用報告を日本生命が提供するものであり、日本生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。  
また、当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
■特別勘定の運用状況等については、「特別勘定の運用概況」をご覧ください。

基準日： 2025年3月31日

運用の特徴

1. 主としてマザーファンドへの投資を通じて、日本を含む先進国を中心とした世界の株式、債券と円短期金融商品に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。
2. 本ファンドのベンチマークは、MSCIワールド・インデックス40%+JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス(グローバル)40%(ともに為替円ヘッジ、円ベース)+日本円1か月TIBOR 20%を使用しております。
3. 為替は100%円ヘッジを基本としています。
4. 資産配分比率、株式・債券・通貨の国別配分比率の変更を行い、収益の向上を目指します。
5. コンピューター・モデルを用いた計量運用を行います。
6. 本ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。

設定来の実績 (設定日:2002年9月25日)



(注)上記のグラフは基準価額(信託報酬控除後、課税前分配金再投資)およびベンチマークを、設定日を100として指数化した実績です。

騰落率

	実績	ベンチマーク
過去1ヶ月	-2.25%	-2.40%
過去2ヶ月	-3.16%	-2.48%
過去3ヶ月	-1.68%	-1.29%
過去6ヶ月	-2.90%	-2.22%
過去1年	-1.29%	0.13%
過去2年	6.17%	6.35%
過去3年	-0.89%	-0.68%
設定来	77.70%	133.94%

(注)分配金再投資の基準価額の騰落率です。

下記※もご覧ください。

基準価額および純資産総額

基準価額	177.70
設定来分配金	0円
純資産総額	25.2億円

注)基準価額は分配落ち後のものです。

※上記の基準価額は、設定日(2002年9月25日)を100として指数化したものです。

※上記の基準価額、分配金再投資基準価額およびファンドの期間別騰落率は信託報酬控除後のものです。分配金再投資基準価額およびファンド(分配金再投資)の騰落率は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。本ファンドの騰落率をベンチマークと比較して評価することは、特に1年未満程度の短期間については資産の評価時点や評価為替レート等の差異の影響が相対的に大きく、必ずしも適切でない場合がありますのでご注意ください。また、ベンチマークには直接投資することはできず、費用や流動性等の市場要因なども考慮されておられません。

資産構成

	基本アセットミックス	ファンド
世界株式	40.0%	45.9%
世界債券	40.0%	27.3%
円短期金融商品	20.0%	26.9%
合計	100.0%	100.0%

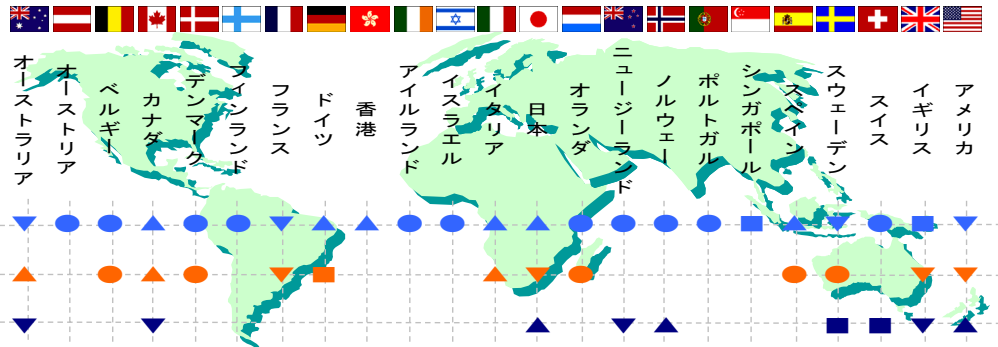
注)マザーファンドにおける、直近のリバランス時のモデル・ポートフォリオの資産配分です。

ポジション(リバランス時)

- ▲ オーバーウェイト
- ▼ アンダーウェイト
- 上下 1%未満

▲印のついていない部分は、ベンチマーク構成国ですが、リバランス時点でファンドに組み込まれていないものです。

株式市場  
債券市場  
通貨配分\*



注)本ファンドは株式・債券など流動性のある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資し、基準価額は変動します。したがって元金が保証されているものではありません。本資料に記載された過去の運用実績に関する数値データは将来の結果をお約束するものではありません。騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。ポートフォリオの内容は、市場動向を勘案して随時変更されます。



【特別勘定名】バランス型(GS-DV)  
【投資信託名】ダ・ヴィンチVA

【投資信託委託会社】  
ゴールドマン・サックス・  
アセット・マネジメント株式会社

- 当資料は、ニッセイ投資型年金の特別勘定が主たる投資対象とする投資信託について運用状況等を開示するための資料です。当資料で開示される投資信託の運用状況等は、あくまで参考情報であり、お客様が直接投資信託を購入・保有するものではありません。
- 当資料は、投資信託委託会社からの運用報告を日本生命が提供するものであり、日本生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。また、当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 特別勘定の運用状況等については、「特別勘定の運用概況」をご覧ください。

基準日： 2025年3月31日

## 2025年3月の市場動向

◎3月の世界株式は5.0%程度下落(MSCI世界株式指数;配当込;現地通貨ベース)となりました。3月の世界株式市場は下落傾向となりました。国別に見ると、アメリカでは約5.9%の下落、ドイツでは約2.1%の下落、フランスでは約3.8%の下落、イギリスでは約1.8%の下落となりました。日本国内の株式は約0.5%の下落となりました。  
◎3月の世界債券は0.5%程度下落(JPモルガン世界国債指数;現地通貨ベース)となりました。3月の世界債券市場は下落傾向となりました。国別に見ると、アメリカでは約0.2%の上昇、ドイツでは約1.9%の下落、イギリスでは約1.1%の下落となりました。日本国内の債券は約1.0%の下落となりました。

## 投資対象の評価(リバランス時)

## 〈資産クラス間配分〉\*

資産クラス間配分では、世界株式はモメンタムの観点で評価が高いことから、円短期金融商品に対して強気の見通しとしている。世界債券はモメンタムの観点で評価が低いことから、円短期金融商品に対して弱気の見通しとしている。大型株/小型株の配分に関しては、モメンタムの観点から中立の見通しとしている。一般優良株/テクノロジー株間の配分に関しては、モメンタムの観点から中立の見通しとしている。

## 〈株式国別配分〉

株式国別配分においては、スペインやカナダに対して強気の見通しとする一方で、アメリカやオーストラリアに対して弱気の見通しとしている。スペインに対しては、リスクプレミアムおよびモメンタムの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。カナダに対しては、マクロおよびモメンタムの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、アメリカに対しては、バリュエーションおよびマクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。オーストラリアに対しては、リスクプレミアムおよびモメンタムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

## 〈債券国別配分〉

債券国別配分においては、オーストラリアやカナダに対して強気の見通しとする一方で、イギリスやフランスに対して弱気の見通しとしている。オーストラリアに対しては、モメンタムの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。カナダに対しては、マクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、イギリスに対しては、モメンタムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。フランスに対しては、マクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

## 〈通貨配分〉

通貨配分においては、ノルウェーやアメリカに対して強気の見通しとする一方で、ニュージーランドやオーストラリアに対して弱気の見通しとしている。ノルウェーに対しては、マクロおよびバリュエーションの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。アメリカに対しては、ファンダメンタルズの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、ニュージーランドに対しては、マクロおよびモメンタムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。オーストラリアに対しては、マクロおよびモメンタムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

※ 円短期金融商品…一般的に割引国債、コールローン等を指します。また、非円建ての短期金融商品に投資しこれを円ヘッジする場合もあります。

本資料中の資産構成、投資対象の評価等は、過去の一時点におけるものであり、以後変更される場合があります。

\* 株式/債券/円短期金融商品間の資産配分、大型株/小型株間の配分および一般優良株/テクノロジー株間の配分を含みます。

MSCIおよびMSCIの情報の編集、計算、および作成に関与するその他すべての者(以下総称して「MSCI当事者」といいます)は、MSCIの情報について一切の保証(独創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性)を含みますが、これらに限定されません)を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害(逸失利益を含みます)およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCIの書面による明示的な同意がない限り、MSCIの情報を配布または流布してはならないものとします。

注) 本ファンドは株式・債券など価値のある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資し、基準価額は変動します。したがって元金が保証されているものではありません。本資料に記載された過去の運用実績に関する数値データは将来の結果をお約束するものではありません。騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。ポートフォリオの内容は、市場動向を勘案して随時変更されます。